

# みんなの 広報

「みんなの広報」は市民の皆さんから投稿いただいた情報を掲載しています。掲載している情報は行政情報ではありませんので、不明な点などは各問い合わせ先に連絡してください。

また、投稿は随時募集しています。  
詳細は市ホームページを確認してください。

▶問い合わせ 秘書課 ☎0287(62)7109



10月16日(日)

## 栃木県農業大学校「いちご学科」の学生募集

いちご学科では、学内および生産現場における実習を重視したカリキュラムにより、優れたいちご栽培技術を学び、安定的ないちご経営の早期実現を目指します。さらに、財務、人材、労務などの経営マネジメントに関する科目も多数設け、いちご経営に必要な基本的な知識、技術、技能を2年間で集中的に学びます。

- ▶とき オープンキャンパス：10月16日(日)  
試験：12月11日(日)
- ▶対象 いちご経営に意欲があり、卒業後、県内で就農する人
- ▶試験科目 小論文、筆記試験(一般教養)、面接
- ▶合格発表 12月21日(火)
- ▶ところ 栃木県農業大学校  
(宇都宮市上籠谷町1145-1)
- ▶申込方法 県ホームページから確認してください
- ▶出願期間 10月17日(月)～11月21日(月)
- ▶問い合わせ 栃木県農業大学校 ☎028(667)0711



10月25日(火)

## 「働き方改革実践セミナー」受講者募集

「ハラスメント対策」と「時間外労働の上限規制と働き方改革」のセミナーです。

- ▶とき 10月25日(火)  
セミナー：午後1時30分～3時30分  
個別相談会(希望者)：午後3時30分～4時
- ▶ところ 西那須野公民館
- ▶対象 経営者、労務管理担当者など ▶定員 20人
- ▶参加費 無料 ▶申込期限 10月18日(火)
- ▶申込方法 電話で予約してください
- ▶申し込み・問い合わせ 大田原労政事務所 ☎0287(22)4158



12月から

## 河川内樹木を伐採し、持ち帰りませんか

洪水時に川の流をせき止めたり、倒木が橋を壊したりすることを防ぐため、河川内に繁茂する樹木を伐採し持ち帰る人を募集します。(公募型樹木伐採)

- ▶とき 12月～来年3月(予定)
- ▶ところ 蛇尾川(予定)
- ▶対象 県内在住の個人、団体、法人
- ▶参加費 無料 ▶申込期間 10月7日(金)～21日(金)
- ▶申込方法 県または大田原土木事務所ホームページから申し込み
- ▶申し込み・問い合わせ 大田原土木事務所保全部 ☎0287(23)6544



みんなで考えよう

## 気候変動

### 電気自動車って、 走る蓄電池？

▶問い合わせ 気候変動対策課 ☎0287(73)5651

電気自動車は、走行時にCO<sub>2</sub>を排出しないため、環境に優しい車知られています。さらに、V2H<sup>※</sup>充放電設備を設置すると、電気自動車は災害などによる停電時には蓄電池として活用でき、上手に使うと自宅の電気代も節約できます。

国や市では、電気自動車やV2H充放電設備などの購入に対し補助を行っています。皆さんも、環境にも家計にも優しい生活について考えてみませんか。

※「クルマ(Vehicle)から家(Home)へ」を意味し、電気自動車に蓄えられた電力を自宅で使用する仕組み。



市補助金は  
こちら



国補助金は  
こちら

ちっちゃな自然

## み~つけた

NO. 209



バックナンバーはこちら▲

自然を愛そう那須塩原

## 幸運を呼ぶカエル！？ ～アルビノのニホンアマガエル～



アルビノのニホンアマガエル 発見場所：三区町

7月下旬、市民が三区町でアルビノのアマガエルを発見しました。

アルビノとは、劣性遺伝や突然変異によって生まれつき色素をつくる遺伝子をもたない個体のことで、体が白や黄色などの明るい色をしています。色素をつくれないと、視力が弱くなったり天敵から見つかりやすくなったりすることがあります。生まれる確率が少ない上に、野外で生き残るのが難しいことから、見つけると幸せになるともいわれています。

今回見つけたアマガエルは、ほとんどの色素が失われ、全身が金色のように見えます。さまざまな困難を乗り越えて大きくなったアルビノのカエルに会えて、小さな幸せを感じました。  
じゅんじ

所在地：三本木地区



## 私のまちの 近い 遺産

▶問い合わせ 生涯学習課 ☎0287(37)5419

### 疫病退散を願う、 獅子の唄と舞 ～三本木の獅子舞～

舞い踊る文化として、那須地方には獅子舞が伝承されてきました。時代を越えて受け継がれるその舞には、人々の健康と安全を願う思いが込められています。今回は、本市の無形民俗文化財である三本木の獅子舞を紹介します。

三本木の獅子舞は、毎年3月下旬の縁日に、三本木延命地藏尊に奉納されます。また、7月には獅子舞が集落の家を一戸一戸巡り、疫病退散の祈願を行います。その起源は明らかではありませんが、西大芦村(現鹿沼市)の関白流獅子舞から伝授されたといわれています。奉納の歴史の中で、一度中断した際には、村を伝染病が襲いました。これを獅子舞中断のたたりだと憂いた先人たちは、再び奉納を復活させ、現在まで受け継がれているといわれています。

三本木の獅子舞は22からなる演目で構成され、獅子がうたいながら舞う、珍しい獅子舞です。